

1. 概要

- (1) 校章について P1
- (2) 授業終始時刻 P2
- (3) 沿革（本科） P3
- (4) 沿革（専攻科） P7
- (5) 秋田工業高等専門学校組織 P8
- (6) 秋田工業高等専門学校校歌 P10

(1) 校章について

校 章



校章の由来

左右に配した“A”は本校の所在地“秋田”のイニシヤルであり、最も優れている、すべての先に立つことを表す文字であるところから“英知と率先の気風”を表す。

“A（アルファ）”は星座の中でも最も輝く首星に名付けられるところから建学の気風としていた“日本一の高専”を目指すことを表し、また“未知”の意をもつ文字であるところから“A”と“A（アルファ）”を相対して配置することによって“英知と率先の気風をもって未知に対する”エンジニア精神を象徴した。

(2) 授業終始時刻

学則第6条に基づく授業終始時刻を下記のとおり定める。

| | |
|--------|---------------|
| 第1・2時限 | 8:50 ~ 10:20 |
| 第3・4時限 | 10:30 ~ 12:00 |
| 第5・6時限 | 12:50 ~ 14:20 |
| 第7・8時限 | 14:30 ~ 16:00 |

(3) 沿革 (本科)

- 昭和38年 1月23日 秋田工業高等専門学校設置準備会開催
3月31日 秋田市飯島に秋田工業高等専門学校設置決定
- 昭和39年 2月
22～23日 昭和39年度入学者選抜試験実施
3月5日 昭和39年度合格者発表
3月21日 校舎竣工
4月1日 国立学校設置法の一部改正（昭和38年法律第69号）により秋田工業高等専門学校設置
機械工学科，電気工学科，工業化学科設置
初代校長に秋田大学鉱山学部長理学博士 丹 桂之助 就任
4月18日 開校式並びに第1回入学式を秋田県産業会館において挙行
9月11日 校章制定
- 昭和40年 3月20日 校舎（寄宿舍，実習工場）竣工
7月1日 第二代校長に秋田大学鉱山学部教授 赤尾 孝太郎 就任
- 昭和41年 1月31日 陸上競技場竣工
3月20日 校舎，体育館，寄宿舍竣工
7月1日 第三代校長に元秋田大学鉱山学部長 野口 清 就任
11月15日 球技コート竣工
12月26日 野球場竣工
- 昭和42年 3月20日 学生食堂兼集会所竣工
4月1日 事務部に庶務課，会計課設置
9月5日 校歌制定
- 昭和43年 1月29日 武道場竣工
9月25日 校舎落成式挙行
10月31日 水泳プール及び付属施設竣工
- 昭和44年 3月18日 第1回卒業証書授与式挙行
4月1日 土木工学科設置
- 昭和45年 3月25日 土木工学科棟，寄宿舍竣工
- 昭和46年 3月30日 熱機関実験室竣工
- 昭和47年 4月1日 事務部に学生課設置
11月20日 図書館竣工
- 昭和49年 3月25日 電子計算機室竣工
4月1日 第四代校長に東北大学工学部教授工学博士 亀田 満雄 就任
10月5日 創立10周年記念式典挙行

昭和52年 3月16日 第五代校長に秋田大学鉱山学部長工学博士 梅津 良之 就任

昭和53年12月12日 第二体育館竣工

昭和54年 3月15日 実験廃水処理施設竣工
生活廃水処理施設竣工

昭和55年 3月15日 一般教室棟竣工

昭和56年 2月23日 第六代校長に宇都宮大学工学部長理学博士 鈴木 一夫 就任
3月 5日 厚生会館竣工

昭和58年10月31日 ハンドボールコート竣工

昭和59年 1月31日 武道場増改築竣工
3月22日 課外活動施設竣工
10月21日 創立20周年記念特別講演会開催（於 秋田県民会館）
11月20日 基幹整備（運動場）竣工

昭和60年 1月21日 基幹整備（電気）竣工
非常用放送設備竣工
3月15日 テニスコート整備竣工

昭和61年 4月 1日 寒冷環境工学教育研究センター設置
12月15日 図書館渡廊下竣工

昭和62年 3月30日 寄宿舍誘導灯竣工
8月10日 第22回全国高等専門学校体育大会開催（本校主管）
～12日
10月 2日 第七代校長に東北大学工学部教授工学博士 島田 平八 就任

平成元年10月 6日 創立25周年記念式典挙行

平成 4年 4月 1日 工業化学科を物質工学科に改組

平成 5年 3月31日 寄宿舍（東1号棟・西1号棟）改修竣工
4月 1日 第八代校長に東北大学工学部教授工学博士 萬谷 志郎 就任
土木工学科を環境都市工学科に改組

平成 6年 3月25日 物質工学科棟竣工
4月 1日 専攻科設置（生産システム工学専攻, 環境システム工学専攻）
8月10日 水泳プール新設竣工
8月25日 寄宿舍（管理棟）改修竣工
12月 1日 創立30周年記念式典挙行
12月 2日 専攻科設置記念式典挙行

平成 7年 6月13日 電子計算機室を情報処理センターに名称変更
8月31日 寄宿舍（東2号棟・西2号棟）を改修竣工

平成 8年 3月 4日 専攻科棟竣工
3月29日 情報ネットワーク電気設備竣工

| | |
|------------|--|
| 9月12日 | 専攻科棟竣工披露式典挙行 |
| 平成9年4月1日 | 一般科目文科系及び理科系を人文科学系及び自然科学系に名称変更 |
| 平成10年3月25日 | 図書総合管理システム導入 |
| 平成11年3月26日 | 図書自動入退館システム導入 |
| 4月2日 | 第九代校長に東北大学科学計測研究所教授理学博士 石亀 希男 就任 |
| 平成12年4月1日 | 既設寄宿舍を女子寮に転用 |
| 平成13年1月29日 | 科学技術教育棟竣工 (1F:地域共同テクノセンター, 2F~4F:低学年講義室) |
| 3月24日 | 一般教室棟等・管理棟改修・その他工事着工 |
| 3月31日 | 寒冷環境工学教育研究センター廃止 |
| 4月1日 | 地域共同テクノセンター設置 |
| 7月31日 | 一般教室棟等・管理棟改修・その他工事竣工 |
| 9月13日 | 地域共同テクノセンター開所式並びに科学技術教育棟新築 一般教室棟・管理棟改修工事竣工式典挙行 |
| 平成14年3月27日 | 物質工学科棟等改修・その他工事着工 |
| 7月31日 | 物質工学科棟等改修・その他工事竣工 |
| 平成15年5月15日 | 機械工学科棟・電気工学科棟・環境都市工学科棟・実習工場改修・その他工事 着工 |
| 10月20日 | 機械工学科棟・電気工学科棟・環境都市工学科棟・実習工場改修・その他工事 竣工 |
| 平成16年4月1日 | 独立行政法人国立高等専門学校機構法(平成15年法律第113号)の施行により独 立行政法人国立高等専門学校機構秋田工業高等専門学校となる 第十代校長に東北大学多元物質科学研究所教授理学博士 島田 昌彦 就任 電気工学科を電気情報工学科に名称変更 |
| 11月19日 | 創立40周年記念特別講演会開催(於 秋田県民会館) |
| 平成19年4月1日 | 事務部の3課を2課(総務課, 学生課)に改組 技術教育支援センター発足 |
| 5月14日 | 「創造工学システムプログラム」がJABEE認定基準に適合していることが認定 |
| 平成20年3月27日 | 高等専門学校機関別認証評価において, 認証評価基準を満たしていると認定 |
| 6月5日 | フランスリールA技術短期大学と学術交流協定を締結 |
| 平成21年4月1日 | 第十一代校長に東北大学大学院工学研究科教授工学博士 山田 宗慶 就任 第1学年について混合学級制度を導入 |
| 平成24年2月3日 | フィンランドトゥルク応用科学大学及びメトロポリア応用科学大学と学術交流協 定を締結 |
| 6月24日 | フランスベテューヌ技術短期大学及びランス技術短期大学と学術交流協定を締結 |

- 平成26年 3月31日 第1学年について混合学級制度を廃止
9月24日 創立50周年記念講演会開催（於 秋田県民会館）
- 平成27年 4月1日 第十二代校長に東北大学大学院工学研究科教授工学博士 米本 年邦 就任
5月15日 フランスプロワ技術短期大学，ルアーブル技術短期大学及びリトラル・コート・ドパル技術短期大学と学術交流協定を締結
7月30日 ベトナム中央地域工科経済水資源大学と学術交流協定を締結
- 平成29年 4月1日 機械工学科，電気情報工学科，物質工学科及び環境都市工学科を創造システム工学科に改組
7月20日 フランスヴァランシエンヌ技術短期大学と学術交流協定を締結
- 平成30年 7月16日 タイ泰日工業大学と学術交流協定を締結
8月8日 ベトナムトゥイロイ大学と学術交流協定を締結
- 平成31年 4月1日 第十三代校長に東北大学大学院工学研究科教授工学博士 植松 康 就任
- 令和元年 11月14日 モンゴル高専連盟と学術交流協定を締結
- 令和2年 8月1日 シンガポール・ポリテクニクと学術交流協定を締結
8月10日 韓国京東大学と学術交流協定を締結
10月22日 メキシコグアナファト大学と学術交流協定を締結
11月5日 メキシコグアダハラ大学と学術交流協定を締結
- 令和4年 3月21日 高等専門学校機関別認証評価において，認証評価基準を満たしていると認定
- 令和4年 7月20日 韓国ヨンジン専門大学校と学術交流協定を締結
- 令和4年 9月21日 図書館・寄宿舍東1号棟改修工事着工
- 令和5年 3月9日 図書館・寄宿舍東1号棟改修工事竣工
- 令和5年 4月1日 第十四代校長に文部科学省大臣官房参事官総務調整官 高橋 雅之 就任
- 令和5年 7月7日 台湾大葉大学と学術交流協定を締結
- 令和5年 8月2日 情報処理センター改修工事着工
- 令和5年 10月1日 一般教科人文科学系及び一般教科自然科学系を共通教育系に統合・名称変更
- 令和6年 1月18日 情報処理センター改修工事竣工（「情報処理センター」は改修後「教育・交流棟」に名称変更）
8月6日 寄宿舍西1号棟改修工事着工
10月26日 創立60周年記念植樹式開催
- 令和7年 3月14日 寄宿舍西1号棟改修工事竣工
5月30日 モンゴルエルデネト高専と学術交流協定を締結
6月18日 タイモンクット王工科大学トンプリー校（KOSEN KMUTT）と学術交流協定を締結
5月30日 タイシラパコーン大学と学術交流協定を締結
11月5日 タイモンクット王工科大学ラカバン校（KOSEN-KMITL）と学術交流協定を締結

(4) 沿革 (専攻科)

- 平成6年4月1日 専攻科設置 (生産システム工学専攻, 環境システム工学専攻)
12月2日 専攻科設置記念式典挙行
- 平成8年3月4日 専攻科棟竣工
9月12日 専攻科棟竣工披露式典挙行
- 平成19年5月14日 「創造工学システムプログラム」がJABEE認定基準に適合していることが認定
- 平成20年3月27日 高等専門学校機関別認証評価において, 認証評価基準を満たしていると認定
- 平成26年12月19日 学位授与に関わる特例の適用認定専攻科として認定 (平成27年4月1日適用)
- 令和3年8月24日 専攻科改組について文部科学省より認可 (令和4年4月1日適用)
- 令和4年4月1日 生産システム工学専攻, 環境システム工学専攻を, グローバル地域創生工学専攻に改組

(5) 秋田工業高等専門学校組織

ア 管理組織

本校は、校長を中心とした体制のもとで運営されている。校長は本校の長として校務をつかさどり、所属する教職員を統督する。

また、学則に基づき、教務主事、学生主事及び寮務主事を置き、教務主事は教育活動を、学生主事は学生生活を、寮務主事は寮務に関する事項をそれぞれ担当している。

さらに、校務運営の円滑化を図るため、副校長、校長補佐、各系の代表、専攻科長、図書館長、情報処理センター長、地域共同テクノセンター長、技術教育支援センター長、教職員相談室長等を置き、相互に連携して学校運営に当たっている。

なお、本校では、系・学年・学級を単位として教育活動を行っており、学生生活に関する直接の指導は、学級担任教員が担当している。

イ 事務組織とその業務

本校は、学校運営に必要な事務を処理するため、事務部長の下に総務課及び学生課を置き、これを事務部としている。

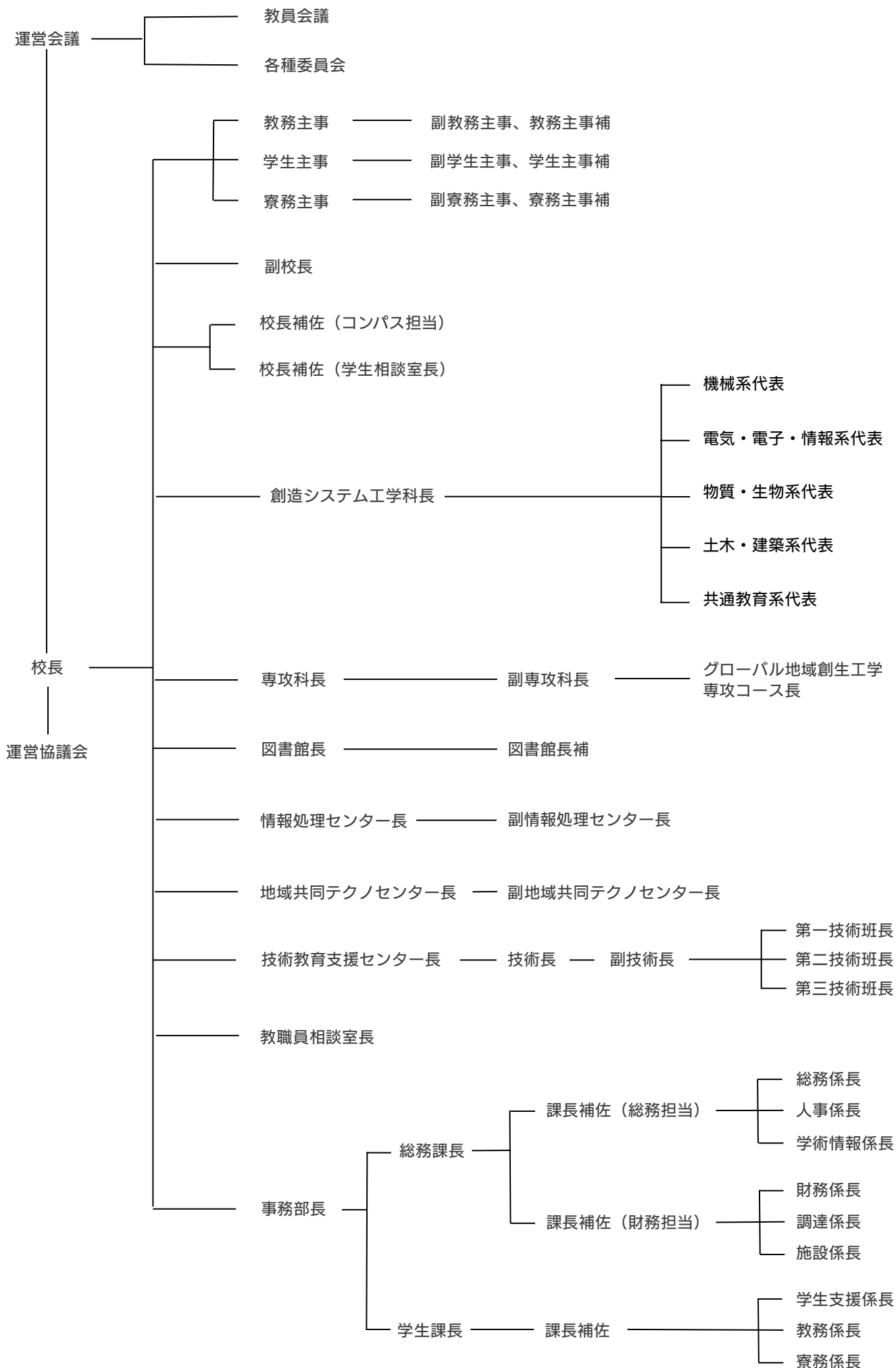
学生生活と特に関係の深い部署は学生課である。学生課には教務係、学生支援係及び寮務係を置いている。

教務係は、学生の募集及び入学者選抜、教育課程の編成及び授業に関する事項、指導要録及び学業成績の整理・記録・保管、進学、各種証明書の発行並びに校外実習及び工場見学等に関する事務を行っている。

学生支援係は、課外活動、授業料の減免・徴収猶予及び経済援助、就学支援金、奨学金、学生旅客運賃割引証及び通学証明書の発行、就職、保健管理及び保健施設の管理運営等に関する事務を行っている。

寮務係は、入退寮手続、学生寮の管理運営、寮生の給食及び衛生管理並びに所掌事務に係る調査統計及び諸報告等に関する事務を行っている。

学生生活に関して不明な点や手続が必要な場合は、学生課に相談すること。



(6) 秋田工業高等専門学校校歌

佐々木久春 作詞
岡本 敏明 作曲

胸をはって ♩=104

1. こ こ
2. こ こ
3. こ こ

い い じ ま の お か た い へ い の み ね る に ま む か い て わ こ
い い じ ま の お か た い へ い の み は る に か の ち に た ち て わ こ
い い じ ま の お か た い へ い の み だ い ち に た ち て わ こ

う ど の り よ う の か い な ひ か る
う ど の そ う の ひ と み ふ か か し る
う ど の あ か き ち し お た き る

こ の か い な も て こ の か い な も て
こ の ひ と み も て こ の ひ と み も て
こ の ち し お も て こ の ち し お も て

な か ぞ ら に に ち り ん さ さ げん } あ -
ゆ く み ち に と も し び さ か か げん
ゆ め お お き し ら - ベ か な でん

あ - あ き た あ き た こ - う せ ん

ち か ら ふ る わん ち か ら ふ る わん と も に
ま こ と た ず ねん ち か こ と た ず ねん と も に
あ す に す だ たん あ す に す だ たん と も に

一、ここ飯島の丘
太平の峰に真向かい
若人の両の腕光る
この腕もて この腕もて
中空に日輪捧げん
あゝ秋田 秋田高専
力ふるわん 力ふるわん
ともに

二、ここ飯島の丘
日本海はるかのぞみて
若人の双の瞳深し
この瞳もて この瞳もて
行く道に灯かかげん
あゝ秋田 秋田高専
真理たずねん 真理たずねん
ともに

三、ここ飯島の丘
みちのくの大地に立ちて
若人の赤き血潮たぎる
この血潮もて この血潮もて
夢多き調べ奏でん
あゝ秋田 秋田高専
あすに巣立たん あすに巣立たん
ともに